

新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

鏡川水生生物研究会が「鏡川の生きものマッピング」を開催！



8月5日(火)に、土佐高校2年生の**小野咲**さんが立ち上げたプロジェクト「**鏡川水生生物研究会**」が、「**鏡川の生きものマッピング**」と題したイベントを開催しました！

鏡川水生生物研究会のメンバーが鏡川で見つけた魚や水生生物を水槽に入れ、高知みらい科学館実験室で観察を行いました。また、鏡川水生生物研究会のメンバーの解説を聞きながら、観察した魚の生息地や特徴を調べて地図上にマッピングしていきました。鏡川に棲む生き物を楽しく学ぶ機会になりました。

＼ 高知市内・外から、まちのコイン「ぼっちり」を通じてコメントが届きました！ ／



高知県安芸市在住の「ぼっちり」ユーザー「**furufuru**」さんも親子でイベントに参加！



「綺麗な鏡川にはどんな水生昆虫がいるのでしょうか。研究会の方から詳しいお話が聞けると思うのでぜひとも参加したいです」

「お知らせくださりありがとうございます！小2の娘と参加します！」
「動く本物の生き物を見ながら観察できるのは貴重な体験ですね。大人でも見に行きたくなります」



代表の小野さんをはじめ、鏡川水生生物研究会に所属する高校生や中学生が、生き物の特徴を詳しく解説！



ヨシノボリやヌマチチブなど、鏡川の魚を水槽に入れて観察します！「ギギ」という珍しい名前の魚も確認できました。

鏡川水生生物研究会が日頃から採集している鏡川の魚の標本にも注目が集まっていました！



解説を聞いたり、図鑑で情報を調べたりして、生きもの**の名前**や**生息地**を理解しながら、**手作りの地図**上に生きもののイラストを貼り付けていきます。



参加していた小学生のひとりが、「お父さんが釣り人やき、この魚、見たことあるで」と、キラキラした目で魚の特徴をたくさん教えてくれました！「この前これ釣ったで。ギンガメアジ。唐揚げにしたら美味しかった！」と小学生が言うと、小野さんが「ロウニンアジも美味しいね」と返答したりと、魚に関する話題で盛り上がっていました！

イベントを通じて、**鏡川の生態系への関心を喚起**することはもちろん、**コミュニティの形成**にもつながっていると感じます。**人と人とのつながり**を作る鏡川水生生物研究会の活動に今後も期待が高まります！



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone



Android